

取扱説明書

株式会社 高陽社

(保証書付)

裏表紙についています。

家庭用



冷え取り君
マイコンプレミアム

型式 FB-C80

このたびは冷え取り君マイコンプレミアムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
お読みになったあとは、大切に保存してください。



目次

●安全上のご注意	2・3	●お手入れと保管の方法	10
●各部のなまえ・付属品・操作パネル部	4	●故障の表示	10
●使用前の準備	5	●仕様	10
●正しいご使用方法		●保証とアフターサービス	11
通常運転	6・7	●保証書	12
保温運転	7		
タイマー運転	8		
操作音	9		
移動、排水の方法	9		

冷え取り君マイコンプレミアムは適温に調整した湯を保温する機器です。
水から適温まで上昇させるには時間を要します。







安全上のご注意

※この機器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。


■ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示の例	
 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う危険が差し迫る」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。
 「警告や注意を促す」内容です。	
 してはいけない「禁止」内容です。	
 実行しなければならない「指示」内容です。	





危険

●火災・感電・けがの原因になります。

-  ●分解したり、修理・改造をしない
- 分解禁止


警告

●火災・感電・けが・やけどの原因になります。

-  ●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使用する
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む
- 電源プラグの刃や刃の取り付け部分にほこりが付着している場合はよく拭く
-  ●ぬれた手で電源プラグの抜き差しはしない
- ぬれ手禁止
-  ●異常・故障時にはただちに使用を中止する
- ・電源切/入ボタンを押しても湯が温まらない
- ・こげ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音がある
- ・ビリビリと電気を感ずる
- ・その他の異常や故障がある
-  ●本体を水につけたり、水洗いしない
- 浴槽などから本体で水をくまない
- 水ぬれ禁止


警告


●火災・感電・けが・やけどの原因になります。

-  ●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重い物をのせたり、はさみ込んだりしない
- 交流100V以外では使用しない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない


注意


●火災・感電・けが・やけどの原因になります。


-  ●皮膚の弱い方、深酒などで感覚が鈍っている方、末梢神経痛や、知覚・感覚障害などの方は、やけどのおそれがあるので、医師の診断を受けてから、注意して使用する
- なお、糖尿病の方は次の注意を守ってご使用ください。
- (1) 脚の皮膚に傷や腫瘍などのある方は、ご使用にならないでください。
- (2) 温度の感覚や痛みの感覚が鈍っている方は、使用を控えるか、医師の指示を受け、低い温度で短時間(40℃以下で5分間くらい)の足湯を行い、使用後は皮膚の変化を確認しながらご使用ください。
- 体の不自由な方、自分で意思表示できない方、皮膚感覚の弱い方に、付き添いなしで使用させない(湯温は適温以下に調整して使用する) (低温やけどの原因)


-  ●子供が中に入ったり、走行したりしない(けがの原因)
- 浴槽の中で立たない(けがの原因)
- 車輪にロックをかけないで使用しない(けがの原因)
- ふたの上に乗ったり、座ったりしない(けがの原因)
- ハンドルを支えにして立ち上がらない(けがの原因)




-  ●使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く(絶縁劣化による感電・漏電による火災・やけど・けがの原因)
- 電源プラグを抜く


-  ●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに電源プラグを持つ


-  ●浴槽に水がない状態で通電しない(空だきとなり本体を傷める原因、やけどの原因)

-  ●本体は落とさない(感電・ショートの原因)




-  ●熱い湯に触れない(やけどの原因)

-  ●足湯以外の用途に使用しない(過熱による焼損の原因)

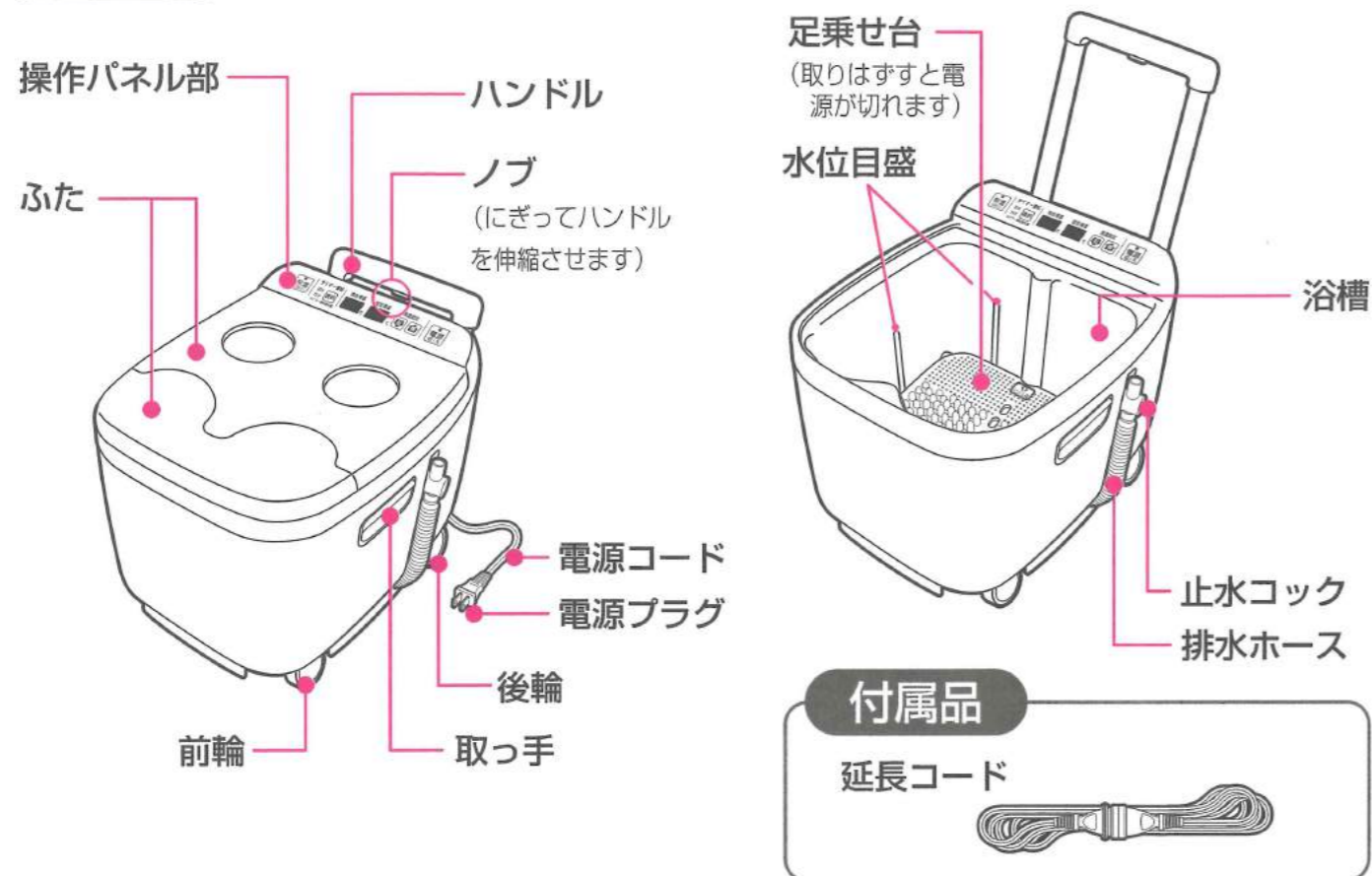
-  ●本体は合成樹脂製なので火の近くで使用しない



-  ●電源コードを引っ張って本体を動かしたり、電源コードに無理な力を加えない(断線やスパークによる焼損の原因)

各部のなまえ・付属品・操作パネル部

本体



操作パネル部



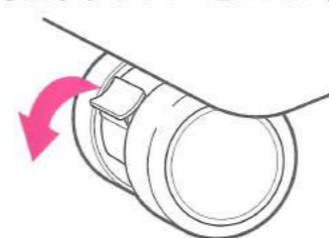
正しいご使用方法

使用前の準備

1 車輪をロックします。

前後の車輪をロックして使用します。
前輪はロックレバーをSTOP側に倒すとロックされます。
後輪はハンドルの内側のノブをハンドル内に押し込んだ状態でハンドルを止まるまで押し込むとロックされます。

前輪のロックレバーをSTOP側に倒す



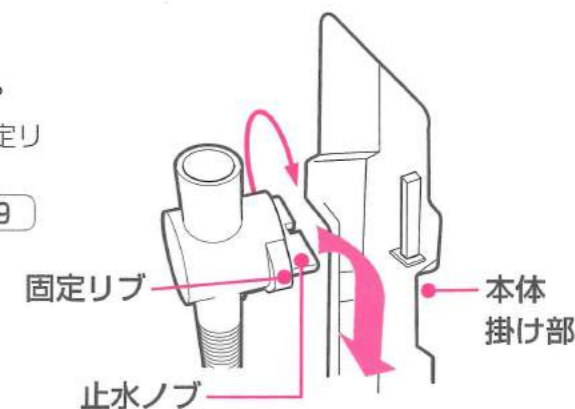
ハンドルを止まるまで押し込む



ハンドルの下側のノブをにぎって押し込んで下げる。

2 排水ホースをセット位置に取り付けます。

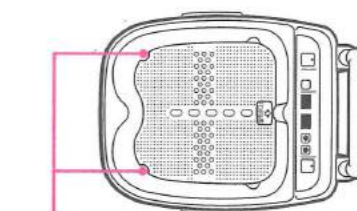
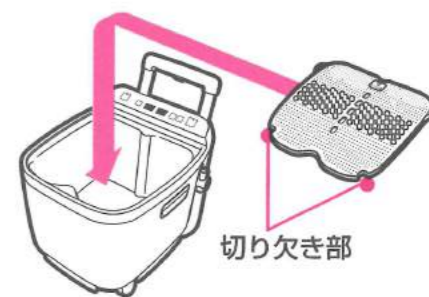
コックの止水ノブを△位置に合わせコックの固定リブを本体掛け部へスライドさせて取り付けます。
コックが「開」状態ではセットできません。→P.9



3 足乗せ台を浴槽に正しく設置します。

足乗せ台をはずしたり浴槽底面から約1cm以上浮いていると電源が入りません。

- 使用中も足乗せ台が浴槽底面から約1cm以上離れると電源が切れます。この場合は足乗せ台を正しく設置した後、再度電源切/入ボタンを押してスイッチを入れ、設定温度を設定し直してください。
- 水から適温まで上昇させた場合は、温度上昇とともに気泡が多く発生しやすく、足乗せ台が浮いて電源が切れる場合があります。お風呂の設定温度くらい(約38℃~42℃程度)の湯を入れてご使用ください。なお、足乗せ台が浮いた時は、足乗せ台を浴槽底面に押し込み、再度「電源切/入ボタン」を押してスイッチを入れてください。



足乗せ台の切り欠き部がこの位置になるように設置する。

通常運転

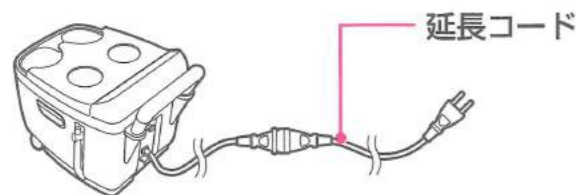
1 お風呂の設定温度くらい(約38℃~42℃程度)の湯約9.4Lを浴槽に入れます。水位目盛がcaくれる位置が約9.4Lです。

- 熱湯を浴槽に直接注がないでください。浴槽を傷めます。
- 空だきすると電源が自動的に切れる場合があります。その場合は、適量の湯を入れて再度電源切/入ボタンを押してください。



2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 適正に配線されたコンセントに電源プラグを根元までしっかり差し込んでください。
- 電源プラグがコンセントまで届かないときは、付属の延長コードを使用してください。



3 電源切/入ボタン を押してスイッチを入れます。

- 電源を入にすると、赤色の電源ランプが点灯します。



4 湯温設定 ボタン、または ボタンを押して湯温を設定します。

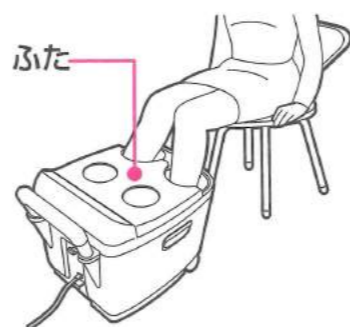
「あげる」ときは ボタンを押します。(1回押すと1℃上がります)
「さげる」ときは ボタンを押します。(1回押すと1℃下がります)

設定値は設定湯温表示窓に表示されます。

- 使用できる温度範囲は38~44℃です。
 - 使用するときの適温の目安は41~43℃です。
 - 低温やけどの心配のある方は、低めの温度にするなどして使用温度に注意してください。→ P.3
- 浴槽内の湯温は現在湯温表示窓に表示されます。
- 現在湯温表示には36~46℃の範囲が表示されます。なお、湯温が36℃未満のときは の点滅表示、47℃以上のときは の点滅表示となります。



5 現在湯温が設定温度に近づいたら、湯の中に足を浸し足乗せ台に足を乗せます。ふたをして体が汗ばむくらい(約15~20分)足湯を行います。



注意



低温やけどに注意し使用する。足を入れたとき熱すぎると感じた場合は、使用をやめる
(低温やけどのおそれ) → P.3

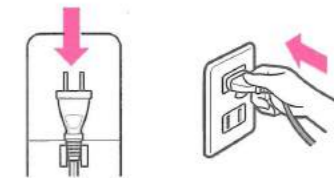
通常運転

6 足湯が終わりましたら、操作パネル部や電源コードに水がかからないよう注意して足を出し、本体のぬれた部分をふいてください。

7 保温運転(38℃)または設定温度による保温をする場合は、ふたをしてください。

8 長時間使用しないときは、 ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本体を持ち運ぶときは、電源プラグを本体裏側のフックに引っ掛けると、じゃまにならず便利です。



注意



- お湯は毎日新しく入れ替えて使用する。また、お湯が汚れたときもそのつど新しいお湯に入れ替えて使用する
長時間お湯を替えずにご使用を続けると、カビや細菌が繁殖することがありますので毎日入れ替えてください。
- 浴槽内は一週間に1~2回程度清掃し、いつも清潔にして使用する

知っておいていただきたいこと

- 入浴剤を入れて使用するとき、入浴剤がじゅうぶんに溶けない状態のまま運転させますと、浴槽底面近くの入浴剤の濃度が濃い部分に熱がたまりやすくなり、局所的にお湯が熱くなるため、まれに安全装置が働いて電源が切れる場合があります。
このような場合は、浴槽内のお湯の温度および入浴剤の濃度が均一になるように足乗せ台を上下に動かすなどして、よくかき混ぜてから「電源切/入ボタン」を押してスイッチを入れ、足湯してください。
- デジタル表示の現在湯温は、湯を入れてから数分くらいは実際の湯温と異なりますので注意してください。
- この製品は急激な温度上昇はしない特性となっています。
- 本体に湯を入れたときや、ヒーターが「入」「切」したときなどに「ピチッ」というキシミ音がすることがあります。これは本体に使用している合成樹脂の膨張、収縮によるもので、性能には異常ありません。

保温運転

次の場合に保温ランプが点灯し、38℃の設定湯温に切り替わり、保温運転になります。

- 通常運転中に ボタンを押す。
- 通常運転開始から約1時間経過したとき。(同時にメロディが鳴る)
- タイマー運転中に ボタンを押す。
- タイマー運転が終了したとき。(同時にメロディが鳴る)

【保温運転をやめる方法】

次のいずれかの操作をすると、保温ランプが消灯し、設定湯温は保温運転を行う前の設定湯温に戻り、通常運転またはタイマー運転になります。

- ボタンを再度押す。→ 通常運転になる。
- または ボタンを押す。→ 通常運転になる。
- タイマー運転 ボタンを押す。→ タイマー運転になる。



タイマー運転

足湯する時間を2通り(20分または15分)設定することができ、設定した時間になると、メロディーが鳴って終了をお知らせするタイマー機能です。

- **選択** ボタンを押すごとにタイマー時間ランプが「20分」→「15分」→消灯(取消し)に変わります。

タイマー運転設定時間 20分の場合

- | | | |
|---|--|--|
| 1 | お好みの湯温を設定してから、タイマー運転 選択 ボタンを押し、「20分」を点灯させます。点灯と同時にタイマー運転を開始します。 | 点灯
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |
| 2 | 残り時間約15分になると、「20分」が消灯し「15分」が点灯します。 | 点灯
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |
| 3 | 残り時間約3分になると、「15分」が点滅します。 | 点滅
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |
| 4 | タイマー運転設定時間が終了するとメロディーが鳴り、「15分」が消灯し、保温運転に切り替わります。 | 消灯
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |

タイマー運転設定時間 15分の場合

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | お好みの湯温を設定してから、タイマー運転 選択 ボタンを押し「15分」を点灯させます。点灯と同時にタイマー運転を開始します。 | 点灯
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |
| 2 | 残り時間約3分になると、「15分」が点滅します。 | 点滅
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |
| 3 | タイマー運転設定時間が終了すると、同様にメロディーが鳴り「15分」が消灯し、保温運転に切り替わります。 | 消灯
タイマー運転
20分
15分
タイマー運転後保温
選択 |

- タイマー運転中に **電源** ボタン、**電源** ボタンを押して設定湯温を変更すると、変更した設定湯温でタイマー運転をします。

タイマー運転をやめる方法

- **選択** ボタンを押してタイマー時間ランプ「20分」、「15分」を消灯させると、通常運転になります。
- **保温** ボタン押すと、保温運転になります。

操作音

この製品は、あらかじめ各ボタンを押したとき「ピッ」と操作音(電子音)が鳴る設定となっています。操作音を消したい時は、次の操作をしてください。

- **電源** ボタンと **電源** ボタンを同時に3秒間押し続けてください。「ピッ」と電子音が鳴り、操作音が鳴らない設定となります。操作音が鳴らない設定の時は、通常運転時で保温運転に切り替わる時のメロディーや、タイマー運転設定時間の終了をお知らせするメロディーも鳴らなくなります。電源プラグを抜いたときや停電時には、設定が解除されますので再設定してください。操作音が鳴る設定に戻す場合は、再度 **電源** ボタンと **電源** ボタンを同時に3秒間押し続けてください。「ピッ」と電子音が鳴り、操作音が鳴る設定に戻ります。

移動、排水の方法

風呂場などに移動して排水する場合

- 必ず **電源** ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動のしかた

- 1 前輪のロックを外します。
前輪のロックレバーをFREE側に起こします。
- 2 ハンドルを引き上げて後輪のロックを外します。
ハンドルのノブをハンドル内に押し込んだ状態で最後までゆっくりと引き上げます。
●ハンドルが最後まで引き上がっていないとロックは外れません。
- 3 ハンドルを引くか、押して前輪でかじをとり移動させます。
お湯が入った状態で移動するときは、こぼれないようにふたをかぶせてゆっくりと移動させてください。
●敷居などの段差の乗り越えは、ハンドルを引く方向に移動し、ハンドルで後輪側を持ち上げて、段差部にぶつけないように乗り越えさせます。



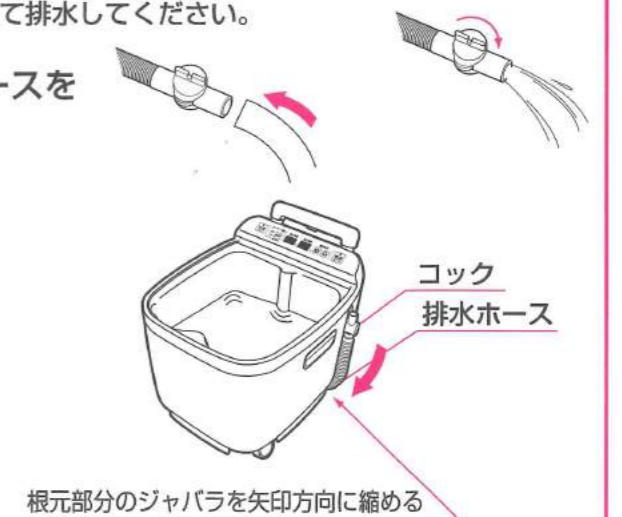
排水のしかた

- 1 止水コックを上側にスライドさせて本体から外します。
- 2 排水場所に排水ホースを倒し、止水コックをノブの「出」方向に回し排水します。水が少し残った場合は本体を排水ホース側に少し傾けて排水してください。
- 3 離れた場所へ排水する場合は、市販のホースをつないで行ってください。

コック、排水ホースの取扱いについて

コックを本体掛け部に引っ掛けた後、排水ホースの根元部分のジャバラを矢印方向に縮めると、本体掛け部から外れにくくなります。

- ご使用時(浴槽にお湯が入っているとき)には、必ずコックを本体掛け部に引っ掛けて排水ホースを収納してください。外したまま床面などに置きますと、コック部からお湯が漏れて床面などを濡らすことがあります。

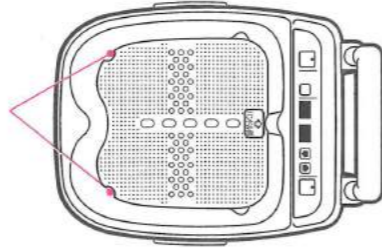


お手入れと保管の方法

- 1 1週間に1~2回は、浴槽内や足乗せ台の汚れを浴槽用洗剤で洗ってください。凸部や隅の部分など手の入りにくい所は、歯ブラシなどを使用すると比較的楽に汚れを落とせます。操作パネルや電源コード部分などの浴槽の上端部から外側に水が掛からないように注意してください。
- 本体を水につけたり、水洗いしないでください。

[足乗せ台のはずしかた]
切り欠き部に指を入れて持ち上げる。

切り欠き部



- 2 本体の汚れは中性洗剤を浸した布を軽くしぼってからふき取ってください。シンナー、酢酸などの薬品は変色、変形、割れの原因となりますので使用しないでください。
- 3 保管される場合は浴槽をよく洗い、乾いた布で水気をよくふき取ってください。

故障の表示

現在湯温表示窓に次のような表示がされた場合は、故障ですので使用をやめ、コンセントから電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に修理を依頼してください。

現在湯温表示窓の表示	故障部品	処置
E1	センサー1	お買い上げの販売店に連絡して修理を依頼
E2	センサー2	お買い上げの販売店に連絡して修理を依頼

仕様

定格	交流100V 250W 定格湯量9.4L
設定湯温	約38℃~約44℃
湯温表示	デジタル表示
安全装置	マイコン制御、温度ヒューズ
移動車輪	前輪(手動ロック)、後輪(ハンドル連動ロック)
排水ホース	止水コック付き
付属品	延長コード(125V,12A 長さ約2m)
寸法・質量(重さ)	幅35×奥行48×高さ38cm・6.1kg

※本製品は、日本国内専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。またアフターサービスもできません。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

■保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのおあと、大切に保存してください。

- 保証期間はお買い上げ日から1年です。

■補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または下記の(株)高陽社お客様相談室にお問い合わせください。

■保証期間中に修理を依頼される場合

お買い上げの販売店に修理をご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。)

■保証期間が過ぎている場合

まずお買い上げの販売店に修理をご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご希望に従い有料にて修理いたします。

■修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

ご使用方法やアフターサービスなど、商品についてのお問い合わせ、ご相談は**お買い上げの販売店**または、下記の(株)高陽社お客様相談室にお問い合わせください。

発売元： **株式会社 高陽社** 〒501-6304 岐阜県羽島市舟橋町出須賀3-38

お客様相談室
TEL058-398-6544
受付時間:月曜日~金曜日の平日 午前10時~午後5時

- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。

製造元：◎日立多賀テクノロジー株式会社

愛情点検



●長年ご使用の足湯器の点検を!

ご使用の際、このような症状はありませんか?

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- 電源コードに傷がついていたり、触れると通電したりしなかったりする。
- 本体や足乗せ台の破損。
- その他の異常や故障がある。

●足湯器の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。

ご使用中

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。